

令和7年度 自己評価 <全体の評価>	光の子グレース子ども園 令和 8 年 2 月実施
1. 園の保育理念、保育方針、保育目標の理解について 評価 B 令和5年度より課題としていた全職員に対し園の保育理念、保育方針、保育目標を伝え、共通理解につなげて行くことの理解に個人差があり、特に表に表れないキリスト教保育の展開についてはキリスト教保育連盟の保育誌から年間主題、保育テーマ、月主題より目標に対して丁寧に共通理解を職員会議、行事ごとに職員間で確認していく	
2. 保育について 評価 B 全体的に%テージは、昨年度より課題としてきた結果が出ている。1. 2. 3についてはクラス担任が課題の把握をし取り組む内容が見えている。8,9,10,11については連携と子ども保育提案等の共有が課題として見える。	
3. 健康管理について 評価 A 安全点検、感染症、SIDS、アレルギー対応などマニュアルに基づき実践している。改定時、病状の症例について特筆性がある場合は職員会議、ミーティングで看護師、園長より全クラスへの報告をする。朝の登園時の保育士の視診、投薬依頼書に基づいては看護師が担当、与薬実践している。	
4. 行事について 評価 A 感染症に配慮しながら、園内外の交流行事も継続して行った。行事の「テーマ」「ねらい」を明確にすることで計画の実行をした。保護者会が参加できる行事は参加をお願いし組織的に取組みを依頼して参加意識を園全体で図った。	
5. 食育について 評価 A 乳児は入園時保護者との面談で管理栄養士と保育士で哺乳・離乳食・アレルギー対応を細かに連携している。食育の季刊誌～楽しく食べよう～を月1回発行、保護者への食についての情報、共通理解を持つようにしている。今年度は食育を行事の中に多く取り入れ食の関心を楽しみにつなげていった	
6. 運営について 評価 B 園長、主幹教諭、クラス職員の協議、連携は毎朝のミーティング、週1回の職員会議、その都度の事案検討では迅速な対応、連携を進めている。各会議においては2, 3共に担当者が運営努力をしている。報告の徹底については 非常勤を含めた全職員の共通理解、認識の差があることから昨年より各部報告、文書回覧・展示の工夫をしたが、に迅速、効果的に、検討の必要があるとして今後の課題とする	
7. 保健・安全指導について 評価 B 園の衛生管理、安全管理は職員間の意識の役割分担でよい状態に保てている。 保護者へ保健・安全への共通理解として月刊誌～たのしくすごそう～を月1回発行している。又、交通安全教室については年2回実施、特に園から駐車場へ横断歩道を利用をしていることからその危険性の周知も保護者に定期的に啓発している。	
8. 研修・研究について 評価 B 今年は各連携機関との園外研修を多く取り入れ職員の視野を広げ、特にキリスト教保育所同盟の熊本、大分の研修では地域を拡大して研修に参加し情報の共有をした。又本園の課題でもある職員研修として、「アンガーマネージメント」研修を実施、職員自身の学びとして受講の肯定的感想が寄せられた。発達に関する専門機関との連携を事業所、園と相互の訪問によって理解と学びを得ることが園児の発達、家庭との連携に繋げ、職員・園全体の学びとして連携を今年度も丁寧に継続していきたい。	
9. 情報について 評価 A 書類等、園事務所内での一括保管を徹底している。このまま厳守いていきたい。	

令和7年度 自己評価

光の子グレース子ども園

<全体の評価>

令和 8 年 2 月実施

10 設備について

評価 A

業者委託の安全管理は定期的実施されている。園全体の管理は職員が担当場所を安全点検チェック表に基づき安全点検を行うと共に必要事案の際には改正の検討協議を速やかに行う。

11. 保護者支援について

評価 B

保育参観、懇談会、保護者会の開催時に園での取り組みや子どもたちの状況報告をする機会を設けている。保護者の必要な相談に応じて職員の配置（主幹教諭・看護師・管理栄養士・担任）をし個別の面談を行っている。又、令和7年度も続いて園の不適切対応の課題である保護者との連携を図る一歩として保護者会組織を男女参画の保護者会として父親の保護者会参加で行事等の計画から企画参加をすることで園との協働参加の機会をもった。保護者会主催の子育て講演会は「見えないものに目を注ぐ～子どもの心見えていますか～」の演題のもとに愛着形成、自己肯定感の講演会を開催、保護者から早く聴きたかった講演会として好評であった。保護者の今に寄り添った講演会を保護者会と相談しながら今後も企画実行したい。

12. 開かれたこども園づくりについて

評価 B

親子教室「プレママ」を通して地域の未就園児の親子に開放し「子育て相談」も受ける。コロナ禍が安定し通所の親子が増えている。医療機関等の専門機関との連携は保護者との相談の中で案内、紹介が増えている

13. 情報発信について

評価 B

月初めの園だより、クラスだより、保険安全・食育の季刊誌を発行している。又ホームページでの活動の写真等、緊急時の連絡は緊急連絡アプリにおいて発信している。

評価	A	大変良い
	B	良い
	C	一部検討を要する
	D	改善を要する